

SUBARUグループ
FUJIKIKAI
富士機械株式会社



**FUJI
MACHINERY
CO.,LTD**



培った独自技術を活かし お客様の期待に応える 商品提供をします。

テーマは
「お客様目線の開発・製造」

01 経営ビジョン

- 存在感をもって SUBARU グループへ貢献出来る企業を目指します。
- 培った独自技術を活かしお客様の期待に応える商品提供をします。
- 地域社会、環境へ貢献します。
- 従業員の働く楽しみの獲得と生活の豊かさ向上に努めます。

02 品質方針

私たちは品質を最優先して、仕事の質の向上に努めます。

- 常により良い物づくりを目指し、全員参加で「シン」の改善を追求します。
※「シン」＝“深”、“真”、“新”、“進”
- 法令、社会規範、社内規則を遵守し、お客様に信頼される仕事をします。

03 環境方針

常に経営ビジョンである「環境・地域社会との調和」を認識し、地球環境への負荷低減活動に努め、豊かな未来の実現を目指します。

1. 商品の開発・設計・製造・販売にいたる各段階が環境に与える影響を考慮し、積極的な環境保全に取り組みます。
2. 環境関連の法及び地域の規制を遵守すると共に、環境目的・目標を定め自主的に取り組みます。
3. 継続的な改善と環境汚染の未然防止を重要認識し、自ら自覚と責任を持った行動を行います。
4. 計画的に環境監査を実施し、活動の結果を確認する中で、より効果的な環境管理活動を実践致します。
5. 階層・職種に応じた環境教育を行い、環境意識の向上と定着を図ります。
6. 環境方針は全従業員に周知徹底を図ると共に、利害関係者に公表していきます。

ごあいさつ

代表取締役 釘本 博文

当社は70年を超える歴史を持ち、創業当初から農業用機械やオートバイ、自動車向けの製品製造に携わってきました。

創業直後、自社ブランドオートバイ製造の野心は600台の販売に終わりましたが、その後「スバル360」をきっかけに自動車部品に主力を移し、今ではSUBARUグループの一員としてトランスミッションと構成部品の供給で貢献しています。

また農業用機械のノウハウから生まれたトランスミッションやギヤセットは海外有名ブランドのゴルフカートやオートバイに採用され事業のもう一つの柱に成長しています。

SUBARU車やオートバイ、ゴルフカートのユーザーが当社製品を認識されることはほぼありませんが、当社は常に最終商品とそのユーザーに配慮した開発と製造を心掛けてきました。この姿勢が当社のモノづくりの源であり、変革期を迎えたモビリティ業界で更に歴史を刻むために必要不可欠なものと考えます。

今回一新した会社紹介パンフレットは若い世代の社員たちがどんな会社になりたいかを考え、その一部を反映したものです。変革期を乗り切るためには人と組織の成長は欠かせません。モノづくりとヒトづくりでSUBARUグループやお取引先、社会に貢献できる会社を目指していきます。



富士機械だから “できる”をもっと——

To the top with experience and technology



営業部
産機営業課



製造部
第3工作課



生産技術部
生産技術課



総務部
経理課

自動車と産業機器の
駆動力を造る



商品開発部
第2設計課



調達部
調達課



常にお客様の
満足を得る品質を——



製造部
設備保全課



製造部
第3工作課



製造部
第4工作課



製造部
第4工作課



製造部
第3工作課



製造部
第2工作課



製造部
第2工作課



生産管理部
生産管理課



FUJIKIKAI
富士機械株式会社

環境

●環境・地域社会との調和

開発

●国際レベルの技術開発
●機能・性能・信頼の実現

品質

●技術者の人材教育の徹底
●企業体質の強化

**未来へと進む歯車。
FUJIKIKAI**

2018年 大泉工場を新設

2014年 本社工場に太陽光発電設備設置
バギー車トランスミッション部品の製造開始

2013年 小型ハイブリッド車用部品の製造開始

2011年 小型用 CVT 部品の製造開始
二輪車向ベベルギヤボックスの製造開始

2009年 伊勢崎工場稼働

2006年 富士重工業株式会社 現：株式会社 SUBARU の完全子会社化

2005年 旧前橋工業高校跡地一部取得

2003年 城南工場取得

2002年 ISO14001 認証取得
リアデフASSYの製造開始

2000年 小型自動車用 6速マニュアルトランスミッションの製造を開始
新熱処理工場を新設

会社沿革 company history

1943年～

- 1943年 中島飛行機株式会社前橋第二工場として発足
- 1945年 富士産業(株) 前橋工場として名称変更
- 1950年 企業再建整備法により富士産業(株)の第二会社として富士機器(株)を設立
- 1955年 富士機械(株)と商号変更 農業機械用トランスミッションの製造開始
- 1957年 軽自動車部品の製造を開始
- 1965年 産業機械用トランスミッションの製造開始
- 1966年 小型自動車部品の製造開始
- 1968年 自動車部品工場を増設
- 1973年 トランスミッション工場を増設

1973年～

- 1977年 ゴルフカー用デフアックスルの製造開始
- 1983年 自動車用全自動ギア製造開始
- 1985年 油圧部品工場を新設
- 1988年 除雪機用HST付無段変速ミッションの製造開始
- 1990年 芳賀工場を新設
- 1993年 軽自動車マニュアルトランスミッション一貫生産の確立
- 1997年 ISO 9001 認証取得
- 1998年 芳賀南工場を取得
- 1999年 i-CVT用オイルポンプ専門工場新設

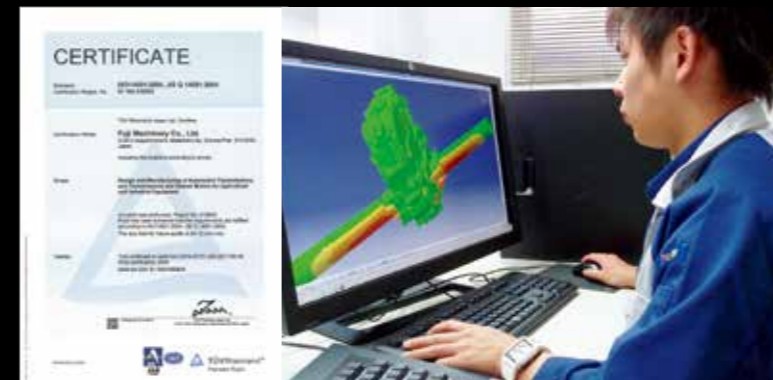
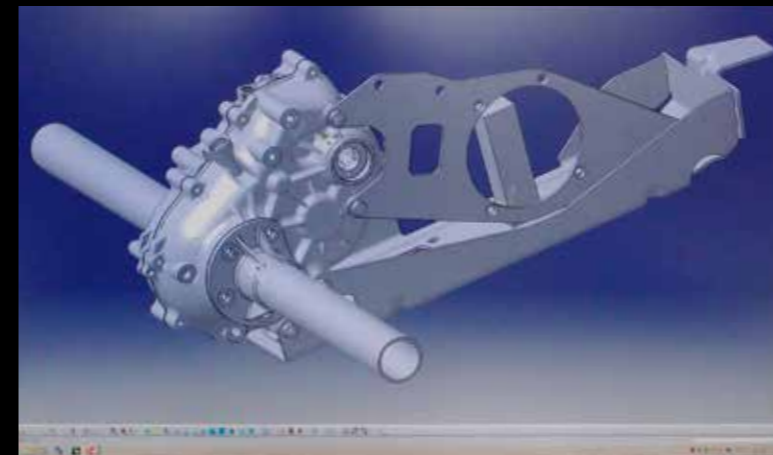
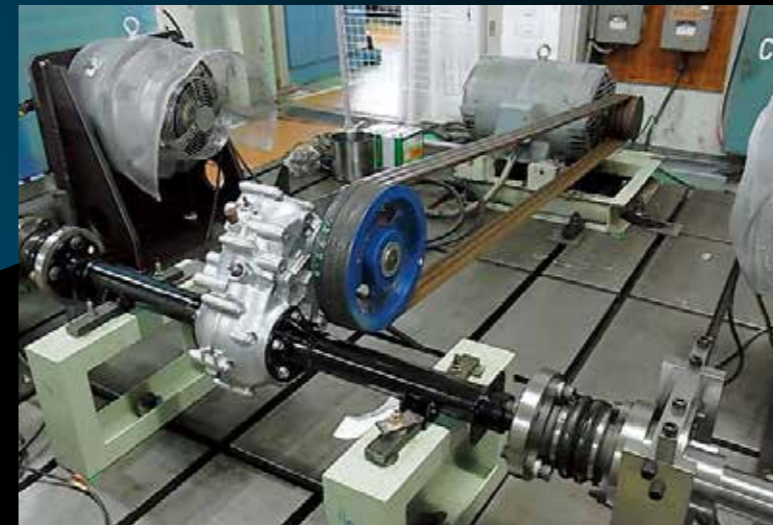


クリエイティブな発想で お客様のニーズに応える技術開発。

製品に求められる機能・性能・信頼の実現を目指し、CAE解析をベースとした実験検証でお客様のニーズに応えます。

自動車産業が進歩するにつれてその根幹である機能部品の分野でも新時代への対応が強く叫ばれています。中でもトランスミッションは、自動車はもとより産業機械、農業機械、レジャー機器にいたるまで幅広く活用され、高精度で高品質な製品が要求されています。この高精度、高品質の追求もすべて開発部門のスタッフの日々の研究、試作の繰り返しによって実現されるのです。当社では高精度化していく技術要求に対していち早くOA化を実現、製品の一貫生産システムの基幹として機能するべく最新の技術情報の習得と専門知識の研鑽に努め、国際規格ISO9001の認証を受け、国内市場だけでなく、アメリカやヨーロッパ市場にも販路を拡大し、グローバルな視野を持った国際企業を目指します。

また、自動車、産業機械用機能部品は高い信頼性と静粛性が求められます。高い性能を有する製品を、短期間・低コストでお客様にお届けするように、構想段階の試作設計からCAE (Computer Aided Engineering) を駆使し、試作品完成後の実験評価と併せ性能実現を図ります。又、お客様と一体となった製品評価に積極的に取り組み、最適なソリューションを提案します。



TECHNOLOGY

PERFORMANCE

人と環境を考えた安全なクルマをテーマに 最新の技術でクルマの理想を追求。

製品紹介「自動車部品部門」

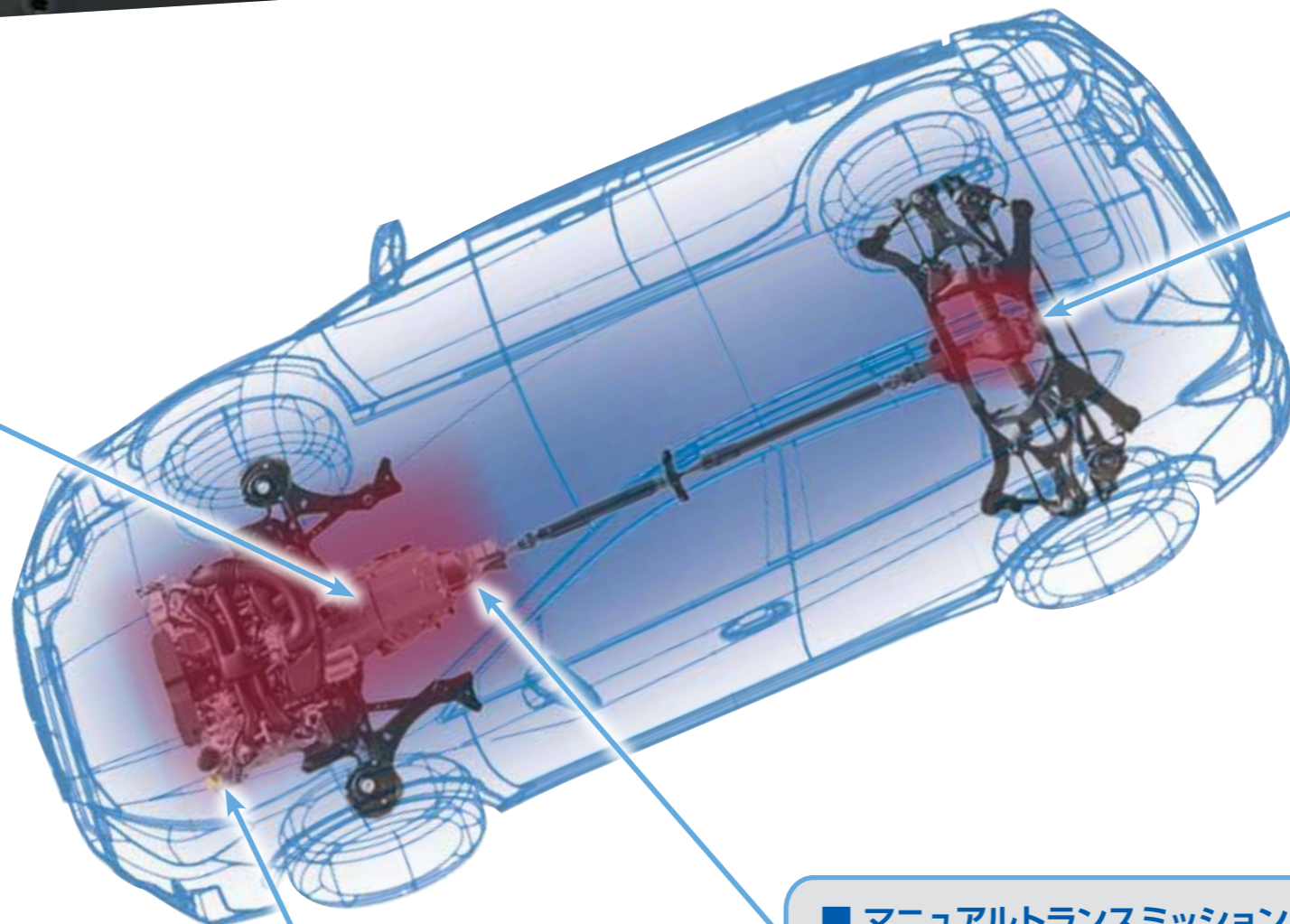
■ CVT 用部品



■ HV 用 モーターケース



CVT: ギヤシャフトから、オイルポンプ、シフト操作系部品までバラエティーに富んだ部品に対応しています。

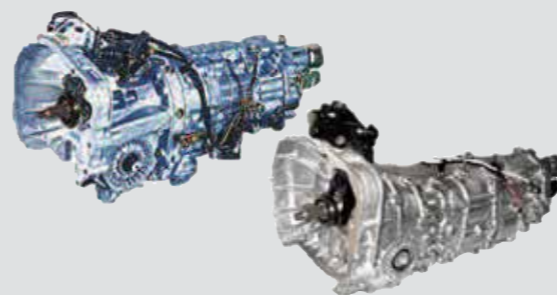


■ エンジン用部品 ターボ SET



ターボ SET: 環境に配慮したターボチャージャーの組み立てを担っています。

■ マニュアルトランスミッション



MT: 加工から組立まで、複雑な形状と高い精度の両立により、高い剛性とスムーズなシフトフィーリングを実現しています。

■ リヤデフ ASSY



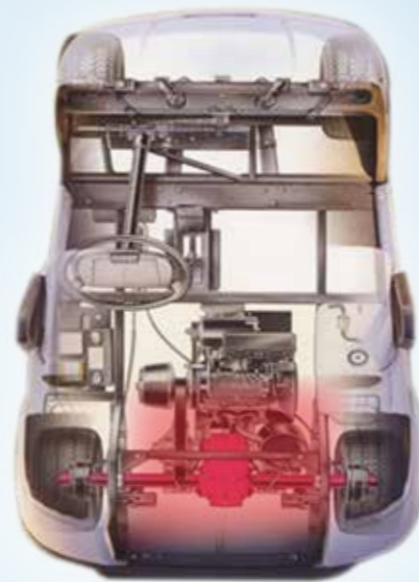
リヤデフ: 加工から組立まで一棟一貫生産を確立。高品質、高信頼の部品を提供しています。



自動車部品メーカーの ノウハウが、 産業機械の市場を拡大。

製品紹介「産業機械部門」

自動車機能部品メーカーとして研究・開発から生産まで一貫したシステムと蓄積した技術ノウハウにより生まれたトランスミッション製品は自動車産業だけでなく、広く産業機械の分野においてもその技術、性能を評価されています。駆動系はゴルフカーや二輪車をはじめとし、環境・建設機器、芝草刈機、除雪機、収穫機などの農業機械用へと広範囲にわたって使用されています。さらに、ギヤモーター系は土木・建設機械、OA 機器にいたる分野で活躍しています。



高所作業車用



電動小型車両用



OA 機器用



■ ゴルフカー用アクスル



運搬車用

■ 各種農業機械用
トランスミッション

High quality of
FUJI MACHINERY



草芝刈機用



■ 二輪車用ベベルギヤボックス



■ 各種農業機械用
トランスミッション



モノを動かし、ココロを動かす。

信頼される モノづくり ヒトづくり

環境への取り組み

Environmental initiatives

「環境・地域社会との調和」を認識し地球環境への負荷低減活動に努め豊かな未来の実現を目指します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SUBARU グループは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

ISO14001

2002年(平成14年)にISO14001を認証取得。
2005年(平成17年)にISO14001:2004年版を取得。



13 FUJIKIKAI FUJI MACHINERY CO., LTD

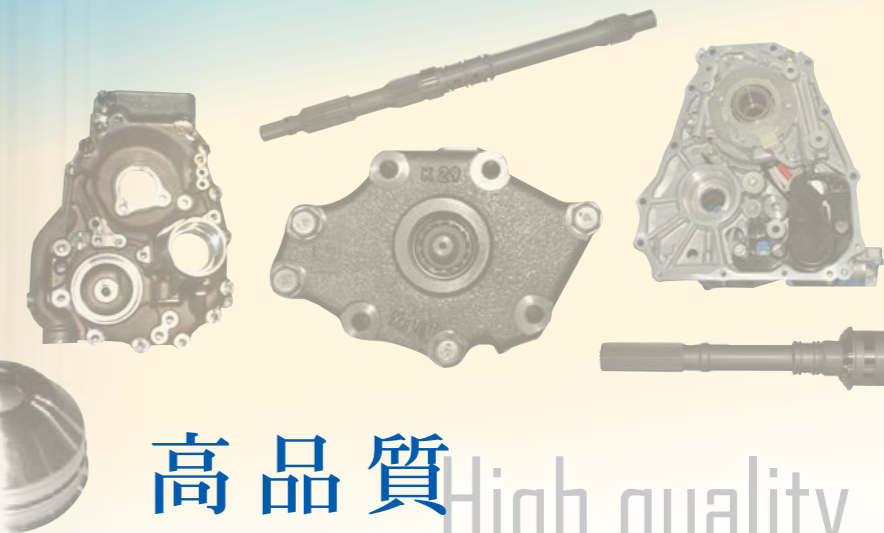
14 FUJI MACHINERY CO., LTD

開発力

Development capability

製品の一貫生産システムの基幹として機能するべく最新の技術情報の習得と専門知識の研鑽に努め、国際規格 ISO9001 の認証を受け、国内市場だけでなく、グローバルな視野を持った国際企業を目指します。

お客様と一体となった製品評価に積極的に取り組み、最適なソリューションを提案。



高品質 High quality

高い性能を有する製品を、短期間・低コストでお客様にお届けするように、構想段階の試作設計からCAE (Computer Aided Engineering) を駆使し、試作品完成後の実験評価と併せ性能実現を図ります。

技術者の人材教育を徹底、 高品質と高効率を極めた生産システムを確立。

高品質、高効率の生産システムの実現を目指して、開発から製造まで一貫生産体制を確立している当社では、先進の生産技術、生産設備の導入とともに、技術者の教育に力を入れています。

当社では日々変化するお客様のニーズに対応するため、大量生産及び多品種少量生産に対応しており、フレキシブルな生産体制づくりに取り組んでいます。

また、高精度な製品をお客様へ提供する為 MC マシンや産業ロボット、最新の真空浸炭熱処理設備など、先進の生産設備を導入しています。今後も、高効率な生産システムを構築し、品質・コスト両面でお客様に満足していただける製品づくりを目指します。

■モノづくりの流れ

生産部門

歯切加工

熱処理

研削加工

組立

検査

出荷

■材料の購入



■歯切加工

騒音や振動が少ない静かなトランスミッションを生産するため 1/1000 ミリ単位で歯車の形状を調整します。



■研削加工

砥砥を高速回転させ、金属を削り取ります。1/1000 ミリ単位で表面の粗さを整え、狙いの寸法に仕上げます。



■検査

3次元計測機を用いて1/1000 ミリ単位の精度で隔々まで検査をすることによって製品の品質保証を行い、高品質な製品をお客様へ提供しています。



■熱処理

真空浸炭炉ラインとして国内最大級レベル。品質の安定を確保しながら、CO₂排出量を大幅低減し、優れた省エネルギー効果を発揮しつつ、多種多様な処理が可能。



■組立

多品種少量生産が可能なフレキシブル組立ラインを実現します。



■出荷



CSR(企業の社会的責任)活動

地域の皆さんとふれあう活動を通して、有意義な時間を共有しています。



地域の交通安全活動に参加



外国人技能実習生受入



納涼祭運営に参加



地域の清掃活動



当社は前橋市のロードレースを応援しています。



前橋市岩神緑地オフロードコース



本社・岩神工場



芳賀工場



大泉工場



伊勢崎工場

会社概要

- 代表者 代表取締役 釘本 博文
- 会社設立 昭和25年7月18日
- 資本金 4億8,000万円
- 営業品目
 - 自動車部門 トランスミッションASSY、CVT用部品、リヤデフASSY、HV用モーターケース、ターボセット、その他
 - 産業機械部門 ゴルフ場機器(ゴルフカー・グリーンモア)用トランスミッション建設機械(ミニショベル・コンクリートカッター)用トランスミッション農業機器(運搬車・防除機・管理機・除雪機)用ギヤBOX福祉・医療機器(シルバーカー・CTスキャン)用トランスミッションレジャー機器(バギー車)用トランスミッション二輪車用ベベルギヤボックス、その他
- 福利厚生
 - 社会保険 健康保険・厚生年金保険・雇用保険・労災保険に加入
 - 体育・文化 従業員の健康・教養・文化の向上と親睦をはかることを目的として厚生委員会を設置。各種クラブ活動を奨励し、職場對抗のスポーツ大会等を実施
- 厚生施設
 - 各種制度 食堂、単身寮、世帯寮
 - スバル購入貸付金制度、財形貯蓄制度、国内留学派遣制度
 - 新卒者家賃補助、カフェテリアプラン、フレックスタイム制度、産休育休制度
- 関係会社
 - 西野機械工業株式会社
 - 富士機械テクノ株式会社
 - 株式会社 SUBARU



富士機械株式会社

■本社／工場

群馬県前橋市岩神町2-24-3 〒371-0035
TEL 027-231-3111 FAX 027-231-3127

■芳賀工場

群馬県前橋市五代町677-4 〒371-0132
TEL 027-269-7795 FAX 027-269-7796

■伊勢崎工場

群馬県伊勢崎市末広町100 〒372-8508
TEL 0270-21-6933 FAX 0270-21-6934

■大泉工場

群馬県邑楽郡大泉町いすみ1-3086-1 〒370-0531
TEL 0276-61-3700 FAX 0276-61-3703